



老子講義

佐藤楚材著

四

□13
6
4



門仁13
號 6
卷 4



老子講義卷四

牧山佐藤先生著

淺野 三龍

石川 素童

全校

下篇

三十八章

章意 此章道德ヲ上トシ仁義禮智ヲ下トス就中禮智

ヲ以テ最下レルモノトス人ハツヤカガリヲ去リ

テ實意ヲ主トシ狡黠ヲ止メテ無為ナルベシト云

ヘルナリ

老子講義

卷四

三十八章

三論式藏反

老子講義 卷四
三輔正統記
上德不德是以有德。下德不失德是以無德。

義解

上德ノ人ハ自ラ徳アリトセズ故ニ誠ニ徳アリ老子
又曰君子盛徳容貌如愚コレナリ下徳ノ人ハ自ラ徳ア
リトス故ニ無徳兼好法師曰上鶻ハ下鶻ニナリ智者ハ
愚者ニナリ徳人ハ貪ニナリ能アル人ハ無能ニナルベ
キナリト亦コノ意ナリ

上德無為而無不為。下德為之而無以為。

王本有誤今據他本

訓字

義解

以ハ用ナリコ、ロヲ用キテスルナリ
上徳ハ無為ナリ然レモ無不為ナリ譬ハバ天ノ如シ
ソレ風ハ暎シ雷ハ震ヒ水ハ潤シ火ハ燥ス皆ソレクニ

為スコトアリタゞ天ハ為スコトナシコレ無為ナリ然レモ
天地間ノ物ソノ終ルモソノ始マルモ天ノ為ニアラザ
ルナシコレ無不為ナリ下徳ハ即上仁ノコトナリ下徳ハ
仁ヲ以テ愛ヲ施ルナリコレ為之ナリ然レモ彼ノ為此
ノ為ト分隔ノ心アルニアラズコレ無以為ナリ譬ハバ
風ノ如シヲリク寒サノ返回リ春メキ兼タルニヤ、春
風ノ吹キ頻レバ一重ハ重桃ニ櫻ニ咲キ初メテ色香争
フ氣色ナルハコレ風ノ惠ナリコレ為之ナリ然レモ春
風ニ心アリテ桃ヤ誘ハン櫻ヤ催サントスルニアラズ
コレ無以為ナリ

上仁爲之而無以爲

訓字 下仁下智下禮ハ言フニ足ラズ故ニタゞ上ナルモノ
ヲアグルナリ

義解 上仁即下徳ナリ説上節ニ見ユ上仁ハ仁ヲ以テ愛ヲ
施スナリコレ爲之ナリ然レモ此ノ爲彼ノ爲ニセンノ
分隔ノ心アルニアラザルナリ平均一面ニ愛ヲ施スナ
リコレ無以爲ナリ

上義爲之而有以爲

義解 上義ハ義ヲ以テ物ヲ正スコレ爲之ナリ抑曲右直心
ヲ用キテスルハコレ有以爲ナリ

上禮爲之而莫之應則攘臂而扔之

義解 上禮ハ禮ヲ以テ敬ヲ行フナリコレ爲之ナリ然レモ
禮尚往來往ケバ来リ来レバ往クモシ我ヨリ敬ヲ行フ
テ彼ソレニ應ヲナサズレバ怒ヲ發シ臂ヲ攘リ扔キヨ
セテ打チ鬪フナリコレ莫之應則攘臂而扔之ナリサレ
バコソ仁ハ徳ヨリ下リ義ハ仁ヨリ下リ禮ハ又義ヨリ
下ル最イヤシキワザニシテ厭フベキノナレ

故失道而後徳

訓字 道ハ天地間ニアル上デ云ナリ徳ハ人ヤ物ノ持テル
上デ云ナリ

義解 道ハ固ヨリ無ナリ徳ト云モ亦無ヲ以テ徳トスルナ
リソモく道ハ無ニシテ万物ノ本タルモノナリソノ中
ヨリ人物各ツノ道ヲ資リ得テ己一分ノ徳トシテ持テ
ルナリコレ道分散シ道タル形ヲ失テ後徳ト云モノニ
ナルナリ

失徳而後仁。

義解 各徳ヲ全ウシテ無為ナラバトリ分ケ愛ヲ施スニモ
及バズソレナリノコトナリ無為ナル一能ハズ失徳ヲ
後ニ仁モテ愛ヲ施ス一トナルナリコレ仁ハ下レルモ
ノナリ

失仁而後義。

義解 仁モテ愛ヲ施シ博ク及ボス一能ハズ而シテ後此ハ
善彼ハ惡ト隔テアリテ義モテ正ス一トナルナリコレ
義ハ又下レルモノナリ

失義而後禮。

義解 義モテ邪ヲ正シ質直ナラバ外ニカザリハイラザル
ベシ外ヲ飾リ善人ニモヨク交リ惡人ニモヨク交ル一
トナルナリコレ禮ハ最下レルモノナリ

夫禮者忠信之薄而亂之首。

義解 ソレ禮ハ忠信ノ薄キヨリ起リシカモ爭亂ノ首ナリ

兄ノ足ヲ履メバ撫ヅルノミ他人ノ足ヲ履メバ放驚ヲ
 謝ス莊子出コレ禮儀カタキハ忠信ノ薄キニヨルヲミル
 ベシ吾ヨリ敬ヲ行フテ彼應ゼザレバ攘臂テ而扔之ハヤ
 クモ鬪タケトナルナリコレ亂ノ首ナルヲミルベシ初ヨリ
 禮ト云フナクバカ、ル争ハナカルベシ

前識者道之華而愚之始。

義解前識ハ智ナリ人ヨリ前ニハヤクサトルナリ道ノ華
 ニシテ實用ニタ、ズシカモ勞シテ益ナシ愚ノ始ナリ
 桃栗モ三年ニ花サケ氏贄ニ用斗食ニ供スルハ實ナリ
 花ハウルクハシキバカリニテ用ヲナサズコレ華ノ貴ブ

ニ足ラザルヲミルベシ世ノ智者ハ往々自ラ罟獲コ檻カ阱セ
 ニ陥ルアリソノ智ハ智ニ非ズ愚ノ始ノミ

是以大丈夫處其厚不居其薄處其實不居其華故去彼取此。

義解是ヲ以テ大丈夫タルモノ忠信ノ厚キニ身ヲ置テ禮
 ノ薄キニハ居ラズ道ノ實ニ身ヲ置テソノ智ノ華ノ如
 ク用ヲナサズルトコロニ居ラズ故ニ彼ノ禮ト智トヲ
 去テ此忠信ト道トヲ取ルナリ

三十九章

章意此章ハ屈伸變通ノ妙ヲ云ナリコノ義ハ孔子夕
 ヲ周易繫辭傳ニ於テノベ玉ヘリ曰往者屈來者伸

又曰尺蠖之屈以求伸也。龍蛇之蟄以存身也。コレ聖人ノ妙用凡人ノ所不知ナリ

昔之得一者

訓字

一トハ道ノ一ナリ道ハ二ツモナク三ツモナシタミ一ツナリ故ニ一ト云ナリ

義解

ソモク万物ノ始マリハ各一箇ノ道ヲ資リ得テ生ズルモノナリ譬ヘバ菜ノ種ハ生ジ易シト云ヘ氏箱ニ入レ袋ニ置ケバ芽ヲ出サズコレヲ土中ニ蒔キオケバ天地ノ氣ヲ受ケ得テ芽ヲ生ズコレ物ハ獨デニ生ズルニアラズ必氣ヲ資リ得テ生ズルナリ万物ノ一箇ノ道ヲ

資リ得テ生ズルトハコノコトナリ老子ハ氣ヲサシテ道ト云儒家ハ理ヲサシテ道ト云理ト氣トハモト混合シテ相離レザル者ナリ故老子亦或ハ理ヲ指テ云アリ

天得一以清地得一以寧神得一以靈谷得一以盈萬物得一以生王侯得一以為天下貞

義解

天ハ一ノ道ヲ得テ清メルモノトナリ天ハ清地ハ濁ト云故ニ清ト

云ナ

地ハ一ノ道ヲ得テ寧キモノトナリ天ハ動地ハ靜ナルモノト云

故ニ

寧ト神ハ一ノ道ヲ得テ靈ナルモノトナリ谷ハ一

ノ道

ヲ得テ盈ツルモノトナリ谷ハ虚ナル故ニ外物聚

故ニ

カク云万物ハ一ノ道ヲ得テ生ズルモノトナリ侯

王ハ一ノ道ヲ得テ天下ノ負シキ手本タルモノトナリ
玉フナリ

其致之一也

王本無一也二字

訓字 致ハナシオホセルナリ

義解 ソノ天ノ清ヲ致シ地ノ寧ヲ致シ神ノ靈ヲ致シ谷ノ

盈ヲ致シ万物ノ生ヲ致シ侯王ノ天下ノ負タルヲ致ス
ハ皆一ノ道ニテナリオホセタルモノナリ

天無以清將恐裂地無以寧將恐發神無以靈將恐歇谷無以
盈將恐竭萬物無以生將恐滅侯王無以貴高將恐蹙

訓字 以ハ用ナリ心ヲ用斗テスルナリオモフノ意以以為

常ニ用キル字ナリ

義解 天ハ清マント以フ心ナク自ラ清タルナリモシ清マ

ント以フ心ニテ漸ク清ミ得タルモノナラバソノ心ナ
キ時ニハ裂クベシ譬ヘバ灯ノ挑キ立テズシテ自ラ明

ガ如シモシ挑立テタル力ニテ明ルキナラバ挑キ立テ
ザル時ニハ暗クナルガ如シ地ハ寧カラント以フ心ナ

ク自ラ寧キナリモシ寧カラント以フ心ニテ寧キコトヲ
得タルモノナラバ時トシテハ發クベシ神ハ靈ナラン

ト以フ心ナク自ラ靈ナリモシ靈ナラント以フ心ニテ
靈ナルコトヲ得タルモノナラバ時トシテハソノ靈ナル

トコロ歌ムベシ谷ハ盈タント以フ心ナク盈ツルヤウ
 ニナリ得タルナリモシ盈ツルヤウニナラント以フ心
 ニテナリ得タルモノナラバ時トシテハ盈ツルナラ
 マジキナリ万物ハ生ゼント以フ心ナク自ラ生ズルモ
 ノナリモシ生ゼント以フ心ニテ生ジ得タルモノナラ
 バ時トシテハ減スベシ侯王ハ貴高ナラント以フ心ナ
 ク自ラ貴高ナルモノナリモシ貴高ナラント以フ心ニ
 テ貴高ニナリ得玉フモノナラハ時トシテハ蹶カンコ
 レ皆ソノ心ナク自ラナリ得ルモノナルガ故ツクルト
 云タメシナキナリ

故貴以賤為本高以下為基

義解 故ニ貴キハ賤シキガ本トナリテ貴キナリ高キハ下

キガ基トナリテ高キナリ

是以侯王自謂孤寡不穀此非以賤為本耶非乎

字訓 孤ハミナシゴナリ寡ハ寡人ノ一徳スクナキ人ト云

義ナリ不穀ハヨカラザルモノト云ヘルナリ貴人ト云

義解 是ヲ以テ侯王ノ貴キモ自ラヒキクシ玉ヒテ我ハ孤

ナリ寡人ナリ不穀ナリト云ヒ貴キモノナリトハ稱シ

玉ハズソレ故ニコソイト貴キ侯王トナリ玉フナレ

コレ貴以賤為本ニハ非ズヤサヤウニハ非ズヤヨク

モシ末ニウツリ躁ガシケレバソノ心紛亂シテ必事ヲ
仕損スルモノナリ以上發端タツ本ニ及ルコソ道ナル動キ
様ナレコハ本有ハ無ニ及リ躁ハ静ニ及リタトヒ事變
紛々タル中ニテモ己ハ凝然トシテ心動セズ心静マリ
テ徐シツカニソノ事ヲ處置スルナリ周公旦流言ノ變ニ遇テ
赤舄シツカ凡々足モト徐ナルモ是ナリ諸葛孔明戰ニ臨ミ角
巾羽扇從容指揮スルモ是ナリ孟子浩然ノ氣ノ章不動
心ヲ貴ブツマリ同意ナルベシ

弱者道之用

義解 秦ノ強モ亡ビ楚ノ項羽ノ強モ亡ビ木曾冠者ノ強モ

亡ビ武田四郎ノ強モ亡ブ強ノ恃ムベカラザル如此以上
發端ソレ弱ナルハ道ノ用ナリハタキコ、本文 末ナガク保タン
ト欲セバタゞ弱トナルベキナリ終ニ強ニ勝ツノ道ナ
リ越王勾踐ノ吳ニ從フコノ道ナリ東照公ノ豊公ニ和
親ヲ結バレタルコノ道ナリ

天下萬物生於有有生於無

訓字 有トハスベテ形アル物ヲ有ト云泛ヒキ辭ナリ余ノ舊
說林註ニ從テ天地ヲサス再思スルニ未穩ヲ覺ユ有ハ
氣ヲサシテ云ナリ改メテ從吳氏說無ハ道ノ一ナリ即
理ヲサシテ云ナリ

義解 天下諸有コレヲ數ヘテ万ト云ヘ凡万ニ止マラザル

ベシソノ數多種クノ物ハイヅレヨリ生ズルヤ氣ヨリ

生ズ氣聚リテ形ヲ造スナリソノ氣ハ何レヨリ生ズル

ヤ道ヨリ生ズルナリ道ハ無聲無臭無ナルモノナリア

、無ハ天地ノ本ナリタゞ此無ニ及ルベキナリ

論餘 周易復ノ卦古註ニハ靜ニ復ルノ義トス周濂溪太極

圖說主靜ミナ人ノ心靜ナルベキヲ云ナリ心靜ナラザ

レバ慮出デズ鏡搖ケバ影寫ラズコレ靜ニ復リ本ニ及

ルベシト云ユエンナリ

四十一章

意章 此章ハ道ハ常情ノ外ニ出タルモノニテ下愚ノ
ヨク知ル所ニアラズ必上根ノ人ヨク入ルヲ得
ベキヲ云ナリ

上士聞道動而行之中士聞道若存若亡下士聞道大笑之不
笑不足以爲道

義解 上士ハ聞道テ善解リ退轉ナク行フナリ中士ハ聞道

テ半信半疑生解リナリ若存若亡ナリ下士ハ聞道テ大

ニ笑フナリ笑フモ宜ナリカレラニハ分ラザルナリ愚

人ニ分ラヌ故ニ貴シモシ愚人ノ不笑分ル程ノ淺ハカ

ナルヲナラバ道トスルニハ足ラザルナリ

故建言有之

義解 故ニ古ノ人ノ言ヒオキシ教ニアリソノコト下ニノ
ブル如シ

明道如昧

義解 誠ニ智ノ明ナル道ハ其智ヲ耀カサズ能アル鷹ノ爪
カクシヨソメニハ昧クシテ智ナキガ如クミユルナリ

進道如退

義解 誠ニ進ムノ道ハ人ト争ハズ謙ニシテ頓テ人ヨリ推
シ進ムルハヨソメニハ退ク如クミユルナリ

夷道如類

訓字 類ハ塊ト通ズツチクレナリ高低アリテ平カナラザ
ルナリ

義解 誠ニ公平ナル道ハソノ公平ナルトコロ目立タズシ

テヨソメニハ塊ノ様ニ平カナラザル如クミユルナリ

上德若谷

義解 上徳ノ人ハ有徳フリラセズ谷ノ虚シキガ如クナリ

太白若辱

義解 太潔白ナル人ハソノ潔白目立タズシテヨソメニハ
辱テ潔白ナラザル如クミユルナリ

廣德若不足

義解 廣徳ノ人ハソノ廣徳目立タズシテヨソメニハ

義解 ソノ器量ノ廣大ナル人ハソノ徳ステニ備ルガ上ニ
モ猶常ニ足ラザルガ如クナリ

建徳若倫

訓字 建ハ書經ニ皇建有極ノ建ト同シソノ性ヲ建テスエ

タルナリ

義解 己ガ性分ヲヨク建テスエタル徳ノ人ハコレ人ニ首

出タル人ナレトソレヲ矜ルヲナクシテ常人ト倫匹同

ジモノ、如クナリ

質真若渝

義解 天性ノマヽニシテ質真ナル人ハソノ質真ヲ自負ス

ルヲナク天性ヲ渝ヘタル人ノ如クミユルナリ

大方無隅

義解 大方正ノ人ハソノ方正目立タズシテ廉隅ナキガ如

クナリ天地ハ東西南北四方ト云ヘ凡方隅ナキガ如ク

ナリ

大器晚成

義解 小器ハ速ニ成ルベシ大器ハ成上リ晚キナリ大鐘大

鼎ヲ鑄ル如キ一朝一夕ニハ成ラザルベシ

大音希聲

訓字 希ハ無ナリ

義解 高下清濁一、イロノ音ハ小音ナリ高下トモ清濁トモイマダ音ニ發セザル所コレ大音ナリ大音ハ聲ナシ道ハスベテノ音ノ本ナル故ニ大音ト云

大象無形。

義解 夏ノ炎冬ノ寒一、イロナルハ小象ナリ炎トモ寒トモイマダ顯レザル所コレ大象ナリ大象ハ形ナシ道ハスベテノ象ノ本ナル故ニ大象ト云

道隱無名。夫唯道善貸且成。

義解 ソモく上文ノブル所種々ノ一ハミナ道ノナス所ナリソノ道タル隱レタルモノニテ目ニミルベカラズ無

名モノナレトソレタゞ道ハ善クソノカラ物ニ貸シ與へ且ソレくニ成就セシムルモノナリ

四十二章

章意 此章道體ハ虛無ナルモノナリシカシテ天地万物ノ本ナリ人コノ虛無ノ道ヲ心得テ謙遜ノ場ニ身ヲ置クベシコレ其身ヲ全ウスルノ方ナリ首節四句極テ解シ難シ王註ハ莊子ノ說ナリ恐クハ老子ノ意ニアラズ余ノ舊說ハ司馬溫公ノ說ニ本ヅケリ後又再思スルニ未穩ヲ覺ユ今且吳臨川ノ說ニ本ヅキ説去ル此章道ノ字形而上ノ理ヲ指テ云

道生一。一生二。二生三。三生萬物。

義解 ソレ道ハ無ヨリ一氣ヲ生ジ一氣陰陽ノ二氣トナル

コレヲ道生一。一生二。ト云ステニ陰陽ノ二氣アレバ頓

テ其間ニ生和陰陽ノ二氣細縷トシテ和調スコレヲ二

生三。ト云陰陽和ノ三ノモノ具ハレバ万物ヲ生成スル

ノ器備ハリ火ハ火ノ形ヲナシ水ハ水ノ形ヲナシ鷺ハ

白鳥ハ黒万物ソレノ形ヲナスコレヲ三生万物ト云

萬物負陰而抱陽。沖氣以為和。

訓字 負抱トハ物ノ體ハ背ハ陰腹ハ陽トス故ニ負陰抱陽

ト云沖ハ虛無ノ一ナリ

義解 万物ハソノ形サマクナレモ背ハ陰腹ハ陽

陰陽ノ二ツヲ具ヘソノ間ニ虛無ナル氣アリテ和シ調

フテ知覺運動一身ノハタラキヲナスナリサテハ天地

間万物ノ體ヲツラク觀ルニソノ生ズルノ本ハ虛無ナ

ル道ヨリ生ジステニ生ジタル上ニモ猶マタ虛無ナル

氣ヲ具ヘテソノ物ノ働キラナスナリ虛無ノ貴キ如

此宜ナリ王公ノ虛無ヲ以テ旨トシ玉フ

人之所惡唯孤寡不穀而王公以為稱。

義解 凡ソ人ノキラフ所ハタゞ孤寡不穀ナド云フナリシ

カルニ貴キ王公ハソノ身ノ一ヲ謙遜卑下シテ孤寡不

穀ト稱シ玉フハコレソノ心虚無ナルナリソレ故ニ万
民イヨク貴ビテ王公トテ崇メ戴クナリカ、ラガリセ
バカ、ラガラマシトハコレナルベシ

故物或損之而益或益之而損

訓字 損ハヘラスナリ卑賤ヲ云益ハマスナリ尊貴ヲ云

義解 故ニ世ノ中ノサマハ我ヨリ損セバ人ヨリ益シ我ヨ

リ益セハ人ヨリ損スコレ自然ノ道理ナリ今夫王公ハ

自ラ孤寡不穀卑賤モノト稱シ玉フ故ニ人ヨリコレヲ

貴ビテ王公ノ貴人トハナリ玉フナリコレヲ損之而益

ト云ナリモシ王公ノ貴キソノ貴キニ驕リ玉ヒ視人如

土芥コノ字孟ナレバ人ヨリコレヲ疎ミ離ル、ナリコ

レヲ益之而損ト云ナリ以上本文書ニ曰滿招損謙受益

亦コノ理ナリ

人之所教我亦教之強梁者不得其死吾將以為教父

訓字 強梁ハツヨキナリ其死トハ身ヲ全ウシテ終ルヲ云

ナリ父トハモトナリ

義解 世ノ人ミナ教ト云フアリ我モ亦人ニ教フベシタ

我教フル所ハ世ノ人ト異ナルノミソレ世ノ態ヲミル

ニ強梁者ハツノ終ヲ全ウスルヲ得ズ多クハ害ニアフ

モノナリコレ謙柔ナル道ヲ知ラザルニヨル前車ノ覆

ル人ノヨキ誠ナリ吾マサニカ、ル強梁ナル人ヲ以テ
我教ノ本トセントス子路ノ勇過テ其死然ヲ得ザルモ
コノ故ナリ慎ムベキナリ

四十三章

意章 此章聖人ハ無為ナリ故ニヨク衆強ヲ制御シ群
有ニ出入スルヲ自在ナリ人亦コレヲ法トスベキ
ヲ示スナリ

天下之至柔馳騁天下之至堅無有入於無間吾是以知無為
之有益

訓字 馳騁ハ自由ニハセアルクナリ堅ハ剛強ノナリ無

有ハ無形ナリ無ノナリ

義解 ソレ山谿ノ險シキ岩ノ争ヒ出テサモ危ゲニミユル

ナカモダ、柔弱ナル水ハ西ニ東ニ自由ニ流ル、ナリ
以上譬喻 實ニ堅キ者ハ堅キ者ヲ制御スルヲ能ハズ天
以下本文

下ノ至柔ナル者ハ天下ノ至堅ナル中ヲモ自由ニ馳騁
トホリ堅剛ヲ制御シ得ベキナリ コ、首ノ 冬ノ寒サニ

玉簾タレコメタル内マデモ風ニ誘ハル、梅ケ香ハ人
知ラズ暗ニ通フナリ 以上譬喻 實ニ有形モノハサ、ハ
以下本文

ル一アリタゞ無形モノハ間ナキ中ニモ入ルナリコレ
皆無為ノ用ナリカ、ル例ニヨリテコソ無為ノ益アル

一ヲ知ル

不言之教無為之益天下希及之。

訓字 林註ニ益トハ有用ナリ

義解 ソレ言ニノブル教ハ淺シ為ノチス一ハ狹シタバ不

言シテ教行ハレ無為ニシテ功成ルコレ至道ノ妙用ナ

リ然ルニ天下ノ人智淺クシテソノ理ヲ知ル者稀ナリ

コレヨク我柔ニシテ剛強ヲ制御シ我無ニシテ群有二

出入スル一能ハザル所以ナリ

四十四章

章意 此章世人ノ名聞利養ノ為ニ身ヲ殞スモノヲ誠

ムルナリ毎句々中押韻身ト親トハ一韻貨ト多ト

ハ一韻餘モミナコレニ同ジ尤巧ナリ

名與身孰親身與貨孰多得與亡孰病

訓字 多ハ大切ナリ病ハナシギナリ

義解 世ノ人多クハ名聞利養ノタメニ眼クラミ心迷ヒ苦

シニ營ミテ終ニソノ為ニ命ヲ殞シ身ヲ果スソモクヨ

ク心ヲシヅメ思ヒ分クベキ一ナリ以上發端名聞ハ我身ト

引キ比ブルニ孰カ大切ナルベキ本文ヲカノ謠曲ニサ

レバ此弓ヲ敵ニ取ラレ義經ハ小兵也ト云ハレンハ無

念ナリヨシソレ故ニ討レンハ力ナシ義經ガ運ノ極ト

思フベシサラズバ敵ニ渡サジト浪ニ引カル、弓執リ
 ノ名ハ末代ニ非ズヤトアルモユ、シク恃^タモシク武夫
 ノ本意トモ聞ユレ氏身アリテコソ人ヲ助クルトモナ
 リ忠孝ノ道モナルベクバ好ノ語、兼アタラ命ヲ名聞ノ為
 ニ棄テント惜^シキナラメ以上名與身孰親我身ト貨財
 ト引キ比ベンニ孰^シカ尊キモノナルベキ本文ヲ一期ノ
 樂ハ假寐^{ウツ}ノ枕上ニ極マリ生涯ノ望ハ折クノ美景ニ殘
 ルコ、鴨長ト思フマデコソ難カラメ飢エズ寒カラズ
 風雨ニ犯サレズ兼好ノ語衣食住ニ有ルニ任セテ世ヲ
 過サバナドカ過^シ得ザランヤ然ルニ己五十年ノ榮曜

ヲイトナミソレ貨財ハモト身ヲ助クル為ノモノナル
 ヲ貨財ノ為ニ身ヲ亡ボスハ本意ナキナリ以上身與
 一ヲ說名利ノニツヲ得タルト我身一ツヲ亡ボストヲ引
 キ比ベンニ孰^シカナシギナルベキ本文ヲタトヒ名利ノ
 ニツヲ思フヤウニ得タリ氏我身ナクバ何ニカハセン
 コレゾ吉田ノ法師ノ云ヘル如ク春ノ日ニ雪佛ヲ作り
 ソノ為ニ金銀珠玉ヲ飾リ堂塔ヲ營ミ建ツルニ同シ建
 テル下ヨリ雪ハ消エ融ケテ珠玉堂塔ノミズ殘ルベキ
 愚ナル哉世ノ人ノ命ニカハテ名利ヲ貪ル以上得與
 亡孰病ノ

一 句 ヲ 說

是故甚愛必大費。多藏必厚亡。

訓字 愛ハ吝ナリ費ハ損ヲスルナリ藏ハ貨財ヲ儲フルナ

リ

義解 コノ故ニ吝ムトノ甚シキハ一旦ニ大ニ損スルトア

リ楚ノ項羽有功者ニ封ヲ行フヲ惜ミ印利ルレ氏與

ヘ兼タレバ烏江ニ於テ戰ヒ敗レソノ國ハミナ漢ノ物

トナルコレナリ以上甚愛必大費 貪リテ藏フルト多キ

モノハ一旦ニ亡フトモ亦多キモノナリ殷ノ紂王ノ鉅

橋ノ粟鹿臺ノ財コレナリ以上多藏必厚亡

知足不辱。知止不殆。可以長久。

橋ノ粟鹿臺ノ財コレナリ以上多藏必厚亡

一ノ句ヲトク

義解 コノ長ク全カルベキ道アリ足ルヲ知テソノ上

ヲ願マザレバ辱ヲ受ケズ止マルヲ知テソノ上ヲ求

メザレバ殆キトナク以テ長久ニ全カルベキナリ以上

キ了林希逸曰此三句千古万古受用不盡者ト世間才能

ノ士終ヲ全ウセザルハ大抵不知足不知止ニヨリテナ

リ

四十五章

意章 コノ章ハ聖人ノ大用ヲ云ナリ

大成若缺。其用不敝。大盈若冲。其用不窮。

訓字 成ハカケメナク十分ナルナリ敝ハヤブレ盡クルナ

リ沖ハ虚ナリ

義解 花ハ盛リニ月ハ隈ナキヲノミミルモノカハト古人

モ云ヘリ實ニ花ノ盛リハ長カラズ月ノ満ツルモ久シ

カラズ花月無情ノ物スラ猶然リ況ヤ人ニ於テヲヤコ

ノ故ニ君子ノ世ニ在ルヤ盛満ニ處スルノ道ヲ知ラズ

ンバアルベカラズイデソノ道ヲカタラシソレ君子モ

我ヨリ求ムルヲハセザレ氏時ニヨリ勢ニヨリ成ニ至

リ盈ニ至リ盛満ノ境ナキニアラザレ氏ソノ成ヤ若缺

ニシテソノ盛ヲ極メザレバナガク缺クルヲナクシテ

ソノ用敝ルヲナクナリソノ盈ヤ虚キガ如クニシテ

盈テリトセザレバナガク虚シキヲナクシテソノ用盡

クルヲナクナリコレ君子盛満ニ處スルノ道ニシテシ

カモ盛満ヲ保ツノ道ナリ以上本文ヲトキ了程子曰聖人有亢之

時無亢之心是ナリ亢ハ盛満ナリ

大直若屈 大巧若拙 大辯若訥

義解 胷脉散人曰味噌ノ味噌臭キハ上味噌ニ非ズトコレ

鄙シキ諺ナレ氏万コノ心バエニテソレトミエル風情

ナカルベキナリサレバ大直如屈ナリ父為子 隱子為父

隱ト云ヘリ大巧如拙ナリ万物ハ天地化工ノ細工ヨリ

出ザルナク一花一葉ノ微ニ至ルマデソノ巧妙ヲ極ム

老子講義 卷四 三輪藏版

レ氏飛彈ノ工左リ甚五郎ト名ヲ争ハザルナリ大辯如
訥ナリ孔老ノ言千万世ニ垂レノコリコレニヨリテ道
モ傳ハリ理モ明カナレ氏蘇秦張儀ノ三寸ノ舌ヲ掉フ
ガ如クニアラザルナリ

躁勝寒静勝熱清静為天下正

義解 冬ノ寒サ夏ノ熱キハ天地ノ氣候ナレバ天下一般オ
シナヘタルモノニシテ玉ノ扉柴ノ扇ソ隔テナクカニ
モカクニモスベキ方ナキモノナレ氏ソレスラ人ノ處
シヤウニテ猶道ルベキ道コソアレ以上發端身躁ガシク動
キハタラケバ冬ノ寒サニ勝テ袒ヲモ脱グベシ心静ニ

オチツキテ在レバ夏ノ熱キニ勝テ汗ヲモ流サザルベ
シコレ人ノ處置ノ貴キ天地ノ氣候ニモ勝ツベキナリ
サリナガラ躁ハ勞シテ勝チ静ハ逸シテ勝ツナレバ
静ニコソアルベケレソモク清静ナルハ天下ノ正タリ
タゞ清静ヲ以テ天下ニ示スベシ上清静ナレバ下清静
ニシテ天下無事ナリ以上本文了凡ソ世ノ躁ガシキハ上
清静ナラザルニヨル纔ニ清静ナラズシテ事ヲ好ムノ
朕兆アレバ臣下ソレヨリ附キ入テ平地ニ波ヲ起シ天
下騷然不知所底止ニ至リソノ害アゲテ言フベカラザ
ルモノナリ

老子講義 卷四 三輪藏版

周易老子トモニ盛満ヲ戒トスコレ盛満ヲニクムニ

論餘 周易老子トモニ盛満ヲ戒トスコレ盛満ヲニクムニ
非ズ盛満ノ保チガタキヲ以テナリ花ハ半開酒ハ半醉
ソノ盛満ヲ戒ムルハコレ即盛満ヲ保ツノ道ナリ邵康
節ノ詩ニ云只喜成微醺不喜成酩酊コレ亦コノ意ナリ
古ヨリ人臣ノ官貴ク位盛ニシテ終ニ一敗塗地至不可
救モノハミナ盛満ノ戒ヲ知ラザルモノナリ

四十六章

意章 此章ハ天下ノ大亂ハミナ人君ノ慾心ヨリ起ル
人君足ルコトヲ知リ玉フベキコトヲ云ヘルナリ

天下有道却走馬以糞車

一本有車字韻叶
今從之補車字

訓字 糞ハ田ノコヤシナリ

義解 ウシロヨリ御敵大勢ニテ逐駟ツカケタリ防矢仕ラン謡曲
兼平

トテ今井兼平ノ手綱ヲ返シ、モ馬ナクバ争イカテ返サン

佐々木四郎宇治川ノ先陣モ馬ナクバ争イカテ渡ラン馬ハ

軍務ノ必用ナリ以上
發端サレバ天下ニ無為ノ道行ハレテ

静謐ナル時ハ一日千里追風逐電ノ駿馬モ何ニカハセ

ンタゞ却ツテ農馬トシ糞車ヲヒカシムベシ

天下無道戎馬生於郊

訓字 戎ハ軍ナリ生ハ諸解在ノ義トス郊ハ野原ナリ戰場

ヲ云ナリ

易傳精義 卷四 四十六章 〇三三 三論紙藏版

老子 卷四 三十三

義解 天下ニ無為ノ道行ハレズ騷亂ナル時ハ鏑サセタレ氏此
刀瘦タレ氏此馬ト謡曲 鉢木馬ヲ貴ブ世トナリテ軍馬郊野
ニ在テ戰場ノ用トナル

禍莫大於不知足 咎莫大於欲得

訓字 咎亦禍ナリ

義解 ソモクソノ馬ヲ貴ブ天下ノ騷亂ハ何ヨリ起ルヤ只
人ノ慾心ヨリ起ル漢楚七年ノ戦モ劉項二人ノ慾ヨリ
起リ保元平治三十年源平ノ大亂モ美福門院ノ慾ヨリ
起ル以上 發端サレバ禍ハ足ルヲ知ラズシテ猶ソノ上ヲ
望ムヨリ大ナル禍ハナシ咎ハ己ノ分ニアラザルヲモ

取得ント欲スルヨリ大ナル咎ハナシトリワケ人君ノ
戒メ玉フベキハ慾心ナリ

故知足之為足常足矣

義解 ソレ人ソノ上ヲ欲ノゾミテ足ルガ上ニモ足ラズト
セバ四海ノ富ヲ保ツモ猶足ラズ太閤ノ朝鮮ヲ伐ツモ
コレナリ万乘ノ尊ニ陞ルモ猶足ラズ胡元ノ日本ヲ襲
フモコレナリ以上 發端タゞ知足之為足今アルナリニテ足
レリトスレバ常ニ足リテ心ニ不足ノ念ナシソレ心ニ
不足ノ念ナケレバ外ニ求ムルトコロナクソノ身安ク
天下静謐ナルベキナリ

老子 卷四 三十四 三論 氏 藏 反

論餘ソレ兵ハモト禁暴除亂ノ具ナリ然ルニ後世ニ至リテハコレヲ以テ為暴興亂ソノ本意ヲ失ヘリコレソノ本ハミナ不知足欲得ヨリ起ル神武天皇即位ヨリ朱雀天皇ノ天慶元年マデ千五百九十八年ノ間ニ兵革ノ動クヲ十二度天慶二年將門純友ガ亂ヲ起シ、ヨリ文治元年春平家亡ビシマデ二百四十七年ノ間ニ兵革ノ動クヲ九ツ十二度文治元年鎌倉ノ治トナリシヨリ天正十八年小田原滅亡マデ四百六年ソノ内正中元年後醍醐天皇鎌倉ヲ滅ボサン一ヲ謀リ玉フヲ始トシ後遂ニ南北二帝ニ分レ南朝ハ新田義貞楠正成等輔ケ

北朝ハ足利尊氏帝ヲ立テタリソノ後應仁元年細川勝元ノ黨十六万人山名宗全ノ黨十一万人諸國ヨリ京師ニ聚リテ相戦フソレヨリ以後諸國割據シテ爭雄太閤小田原ノ役ニ至リテ大抵天下一統ス就中新田楠等ノ勤王ノ舉ノミ禁暴除亂兵ノ本意ニ叶ヘルカ

四十七章

意章此章ハ聖人ハソノ心外ヘチラズ收斂モノナリ故ニ其智明ナリ凡ソ人コレヲ則トシテ心ノ外事ニ奪ハレザルヤウニスベシト云ヘルナリ此章ノ意道學ノ緊要トスル所ノ敬ノ工夫ニ似タリソノ

言粗ノ如クナレ氏理甚密ナリ

不出戸知天下不窺牖見天道

義解 夫一花開テ天下ノ春ナルヲ知リ瓶水凍テ天下ノ

寒キヲ知ルコ、淮南子ノ語〇以上發端 況ヤ聖人ハ執古之道御今

之事五フニ於テハソノ身戸ヲ出デズシテ居ナガラ天

下ノ事ヲ知リ牖ヲ窺ハズシテ坐シナガラ天道ノ運カクヲ

知リ玉フナリ大於天一

其出彌遠其知彌少

訓字 出ハ心ノ外へ出適クナリ即物事ニ心ノ迷フナ

リ閑思雜慮ト云ノ類ニナコレナリ知ノ字韓非子ニ作

智上文ノ不出トハ身ノ一ナリ此ノ出ハ心ノ一ナリ

義解 惜花春起早愛月夜眠遲ト云ヘル理ニテ花ヲミレバ

花ニ心ウツリ月ヲミレバ月ニ心ヒカルスベテ出適イテキ

ヤスクシテ定靜ナリガタキハ人ノ心ノ習ナリ以上發端モ

シ人富貴聲色喜怒好惡コノ為カノ為ニソノ心ヒカレ

迷ヒ昏ミテ適クイヨク遠ケレバ腔子ハ空蟬ノ蛻カクト

ナリテソノ智イヨク昧キモノナリ以上本文 昔楚ノ白

公亂ヲ興サンヲ謀リテ杖ヲ倒ニ植テソノ銳ニテ頤カク

ヲ傷ツケ血ノ流ルヲ知ラズ惟任光秀主ニ叛カン

ヲ謀リテ端午ノ糕チキヲ包メルマニ食ヘリト云コレ皆

心ノ出適トキテ智ノ昏キ証トスベシ莊子ノ所謂螳螂トヲ捕ヘントシテ後ニ狙フ雀アルヲ知ラズ人ハ雀ヲ捕ヘントシテ後ニ吏人ノ咎トアルヲ知ラズトハコノ譬ナリ註ニ人ヲ謀リテ人ノ己ヲ謀ルヲ知ラズト世人コノ類尤多シミナ其出彌遠其知彌少ノナリカ、ル昧キ智ニテ事ヲ處置スレバソノコトヲ誤ルベクシテ白公ノ敗惟任ノ狂謀固ヨリソノ所ナリ

是以聖人不行而知不見而名不為而成。
義解 是ヲ以テ聖人ノ心ハ外ヘウツリユクナク常ニ惺

キタリ故ニ不行シテ居ナガラソノ事ノ得失ヲ知り玉ヒ不見シテ暗ニソノ物ノ是非ヲ名ノリ分ケ玉ヒ不為シテ自ラソノ業ヲ成シ得玉フコレミナ聖人定靜ナル心ヨリ出ル自然ノ妙用ナリ

四十八章

意章 此章無為ノ益廣大ニシテ天下ヲ取ルノ大事モ

只コノ無為ニテナシ得ベシトイヘルナリ

為學日益為道日損損之又損以至於無為。

義解 スベテ學ヲ為ス者ハ知ラザルヲ知リ習ハザルヲ習テ日ニ智ヲ益シ能ヲ益サントスルモノナリソ

レニ引キ換ヘ道ヲ為ス者ハ知ルヲ止メ習ヘルヲ
ステ日ニニ智ヲ損シ能ヲ損スモノナリ損之又損損シ
盡シテ損スベキナク以至於無為ナリ

無為而無不為

義解 果シテ無為ナレバ己手ヲ勞セズシテ万物ノ自然ニ
任セコ、無為ノ二字ヲトク、鳶飛ビ魚躍リ農耕シ商賈アキヒ万物己ガ
サマクヲ為シ營ミテナラザルヲナキモノナリコ、無
三字ヲトク

取天下常以無事

訓字 無事ハ即無為ノ一ナリ常トハイツモノナリ

義解 ソレカルガ故ニ天下ヲ取ルハ常ニ無為ノ道ヲ以テ

取り得ルナリソレ人君拱手コトナキマシクテ智アル者ハ謀リ

勇アル者ハ戦ヒ各其任ニ當リ其職ニ稱カヘバ統御コトナシノ方

ヲ得テ天下ニ抗衡カウバウスル者ナク天下自ラソノ掌握カウバウニ歸

スコレ取天下以無為スベキ所以ナリ昔漢楚七年ノ戦

モ正中以後二百六十七年ノ大亂モ争フ所ハ天下ナリ

サシモ取りガタキ天下ヲモタビ一ツノ無為ノ道ニテ

取ルベケレバ無為ノ貴キヲ知ルベキナリ

及其有事不足以取天下

義解 モシ無為ナル一能ハズシテ有為ナレバ天下ヲ取ル

一能ハザルナリソハ自ラオヲ恃ミ能ニ矜リテ物ニ任
セズ智アル者ヲ棄テ一己ノ謀ヲ廻シ勇アル者ヲ棄テ
自ラ弓矢手挾ミ真先ニ駢出ントス豈天下ヲ取り得ベ
ケンヤ

四十九章

章意 コノ章聖人天下ヲ治ムルノ妙用ヲノブルナリ

聖人無常心以百姓心為心

義解 聖人ノ心適モナク莫モナクカクト定マル心ナシ天
下百姓ノ心ヲ以テ己ガ心トシ百姓ノ好スル一ハ好シ
テコレヲ仕向ケ百姓ノ惡ム一ハ惡ミテコレヲ去リ玉

フナリ

善者吾善之不善者吾亦善之德善

訓字 不善ハ不能ノ一劣レル者ヲ云ナリ

義解 善者吾固ヨリコレヲ善トス不善ニシテ劣レル者モ

吾亦コレヲ善トシテ棄テザレハ善モ不善モソノ徳ミ
ナ善トナルナリ譬ハ玉不善ハ石玉ハ寶石ハ礎
各トリエアリテ皆ソレクノ用ヲナスコレヲソノ徳善
ト云ナリ

信者吾信之不信者吾亦信之德信

義解 信ナル者吾固ヨリコレヲ信トス不信ナル者モ吾亦

コレヲ信トシテ除ケザレバ信モ不信モソノ徳ミナ信トナルナリ誠シキ心カラ忠ナルモノハ固ヨリ忠トシ名利ノ為ニ忠ナルモノモ忠トナシオケバミナ忠臣ナルガ如シ

聖人在天下。歙歙為天下。渾其心。百姓皆注其耳目。聖人皆孩之。

訓字 歙、王註ハ心無所主ト云テ心ノブラリトシタル意ナリ為天下トハ向天下ノ意ナリ為ノ字多クコノ義ニ用中タリ渾ハマロキナリ無圭角ナリ注其耳目トハ耳ヲツケテキ、目ヲツケテミルヲナリ孩ハラサナゴナ

リヤウヤク笑フヲ知ル幼子ヲ孩ト云

義解 聖人ノ在天下歙トシテ天下ニ向テ其心ヲマロク

シテ圭角ナキモノナリ天下ノ百姓各耳ヲ注テキ、目ヲ注テ視己ガサマクニ為シハタラクモノナリ聖人ソノ上ニ在テコレヲ治メ玉ヒミナ嬰孩ノ如クウチ和ゲテ無欲モノトナラシメ玉フナリ

論餘 聖人無常心。以百姓心為心。コレ即大學所謂民之所好

好之。民之所惡惡之。此之謂民之父母。ノ意ト全ク同シ不善者吾亦善之。徳善一説ニ不善者ハ小人ノトス若クノ説ノ如ク解スルモ小人ヲ化スルノ妙術ナリ小人ノ

小くタル所ヲ發ハクキ不善ナル者トスレバ彼モハヤ世ニ
 タノミナクイヨクソノ惡ヲ恣ホウニスルモノナリ故ニ不
 善ナル者モ吾亦善トシテヨクアシラヒヲケバ不善ヲ
 イタシ兼ネテツヒニハソノ德善ニナルモノナリ兒童
 ノ横ワナナク著ナルオトナシト譽ムレバ横著ヲイタシ兼ヌル
 モコノワケナリコレ點鐵ウツ成金ノ妙機ナリトイヘリ東
 照公伏見ニ居玉ヒシ片關東ヨリ飛脚来リテ江戸御城
 下ニテ夜ニ入候ハハ御旗本ノ壯士共辻ツギ切致シ候故日
 暮テハ往還止マリ諸人難儀ニ及ブ由ヲ聞玉ヒ板倉伊
 賀守へ仰オホセニ是ハ以前其方物語ニテ呼ヒ出シタル鷹

匠何某ヲ遣シ候ハハ辻切止メテ來ルベキ者ナランニ
 今何方ニ居候ヤト尋ネ玉フ伊賀守答ヘテ如何ニモ其
 者ニ候ハハ止サセテ歸ルベキ器量ノ者ナリ私方ニ居
 候事モ可有之候左様思召候ハハ呼ヒ寄セ可申我ト申
 上ゲケレバ早ク是へ呼ビ出シ候ヘトノ仰オホセニ付ツキ即テ
 召シ出ダシヌサテ只今召シ出サレ候事別儀ニ非ズ江
 戸ニ於テ旗下ノ若者夜々辻切ニ出候故往還ノ煩ノ由
 ナレバ鎮メテ參ルベシト被申渡ケレバ奉畏候トテ早
 く江戸へ罷下リ御老中へ廻リ仰セノ趣申渡儀有之候
 間明日御登城有ベク候御旗本十六歳以上男子御目見

致シタルモ致サバルモ其支配頭召連可致登城旨御觸
可有之ト申達ス翌日御旗本不殘登城ノ時件ノ鷹匠上
座ニ居リ申ケルハ仰セニハ何レモ御留守ニ差置カレ
候ハ御用心向ノ思召候處如何仕腰ノヌケ候哉急度申
譯可仕某ニ承リ届ケ可參トノ仰セニ候間何分ニモ可
被申上ト申ケレバ年寄中モ如何様成事ニ可罷成哉ト
末座ノ面々モ目ト目ヲ見合セタル處ニ大久保彦左衛
門申ケルハ殿様ニハ何事ヲ御聞キ左様ノヒガ事ヲ被
仰候哉合點參ラズ候由申ケレバカノ鷹匠申ハ御用心
向ト思召候テ武勇ノ者共ヲ差置カレ候處夜々アブレ

者ドモ江戸中ヲ徘徊シ辻切ヲ致スガ故ニ夜ハ往來留
マリ候様ニ聞召及バレ候然ルニ一人モ討留タリト申
儀御聞ニ達セズ左候得ハアバレ者ニ恐レ夜ハ戸ヲ閉
ヂカミ込ミテ罷在ルニテ可有之ト思召シ候ニ付右
ノ御不審被仰下候ト申達シケレバ何レモ目ト目ヲ見
合セタル斗ニテ一言申者無之處彦左衛門罷出デ何レ
モ箇様ノ所へ少シモ心付キ申サズ油斷仕候仰セノ段
至極迷惑仕候今宵ヨリ若者共ニ申付心懸サセ左様ノ
アバレ者候ハ急度討留申ベシ何レモ奉誤候段何分
ニモ可然御請奉願候何レモ存寄ハ無之哉ト一座へ向

ヒツ、申ケレハ満座一同ニ彦左衛門申上候通り奉誤
 候何分ニモヨロシク御請奉願候由申上ゲ退出ス其夜
 ヨリ切手共ガ互ニ心懸外ヲ制シケル故終ニ辻切止
 静謐ニ相成タリ此鷹匠ハ後ニ本多佐渡守トテ名臣ト
 被呼ケリ不善者吾亦善之徳善ナリトハカ、ル一ナル
 シ

五十章

意章
 コノ章人無欲ナレバ柔弱ニシテ物ニ逆ハズソ
 ノ身ヲ全ウス身ヲ亡ボスニ至ルハ欲ヨリ起ル古
 ノ聖人ハ無欲故ニヨク身ヲ全ウシ玉フ一ヲ云ナ

出生入死

義解
 夏ノ虫ノ飛テミヅカラ火ニ入ルニ異ナラズ人ト生
 地ヲ出テ、死地ニ入ルモノナリ

生之徒十有三死之徒十有三

訓字
 生之徒。死之徒。極難解。七十六章ニ云堅強者。死之徒。柔
 弱者。生之徒。今コレニヨリテ解ス生之徒トハ命ヲ保ツ
 方ノ一ト云如シ死之徒トハ命ヲ喪フ方ノ一ト云如シ
 十有三コノ語尤難解今姑王註ニ從ヒコレヲ解ス十有
 五トイハズシテ十有三ト云コレ解シ難キ所以ナリ

義解 ソレモト人ノ世ニ處ハ柔ニシテ物ニ逆ハズソノ身ヲ保ツコトヲ得ベキ類ノ一十ノ中ニ三分アリ又強クシテ物ニ逆ヒソノ身ヲ喪ボシソノ命ヲ殞スベキ類ノ一十ノ中ニ三分アリコレ生ベキ方ノ一三分死スベキ方ノ一三分ニシテ生ト死ト相半バシ半死半生トモ云ベク素ヨリ危キソノ身ナリ

人之生動之死地十有三

義解 然ルニ人ノモノニ心得大ク強キハイトゴツヨク逆フハイトゴ逆ヒ動テ死地ニユキ身ヲ喪ボシ命ヲ殞スベキ一十ノ中ニ三分アリサレバ生ハ三分死ハ六分ニ

シテ危ハイヨク危ク更ニ生スベキ道ナキナリ

夫何故以其生生之厚

訓字 生生ハ養身ヲ云ナリ
義解 ソレ人身ヲ惜ミ命ヲ愛マヌ者ハナシ何故ニミヅカラ死地ニ陥ル如此ナリヤソノ身ヲ養フ心厚クシテ富貴榮曜ヲ求ムル慾ニクラミ斯ク強クシテ物ニ逆ヒ死地ニ陥ルニ至ルナリ

蓋聞善養生者陸行不遇兕虎入軍不被甲兵兕無所投其角虎無所措其爪兵無所容其刃夫何故以其無死地

訓字 攝生ハ身ヲ保ツヲ云ナリ兕ハ野牛ト云甲兵甲ハ帶

ケテ云マデナリ兵ノ字主ナリコノ類書中ニ多シ

義解 蓋聞ク善ク身ヲ保ツ者ハ陸ヲ行ケル兕虎ノ禍ニ遇

ハズ軍ニ入レル甲兵ノ害ヲ被ラズソレソノ銳キ兕モ

ソノ角ヲ觸レヤウナク猛キ虎モソノ爪ヲ措キヤウナ

ク利兵モソノ刃ノ容レヤウナキナリソハ何故ニ如此

ナルヤ其人慾ニ動クナク柔ニシテ物ニ逆ハズ危キ

死地ナキ人ナルガ故ナリサレバ無慾レバ身ヲ保ツ有

慾バ身ヲ喪フソノ理明白ナルト如此身ヲ思フハ身ヲ

思ハザルナリ何ゾ慾ヲ寡クセザルヤ

餘論 無住國師ノ砂石集ニコノ章ヲ引テ曰老子云道德ア

ル人ハ兕虎モ爪ヲサシオク所ナク甲兵モ刃ヲ接フル

所ナシトソノ意ハ大道ヲ心ニ修メ妄念ナク身ニ死地

ナキ者ハ殺スベキ所ナキガ故ナリ此故ニ魔ニトラル

ハハマヅコ、口魔トナリ佛ニ度セラレハハマヅコ、

口佛トナル憍慢即魔也菩提心即佛也大般若ノ意ハ般

若ヲ念スルモノハ軍ニ入ルニ刀杖身ヲ犯サズソノ故

ハ般若ハ無相平等ノ智ヨリ同體無縁ノ慈悲ヲ興ス故

ニ身ニ貪瞋愚癡等ノ兵杖ナシコノ故ニ敵オノヅカラ

慈悲ヲ興シコハキ物オノレト損シ落チウセル由ヲ説

カレタリ薪ヲ焚クニ木ノ中ノ火起テ後外ノ火ハ附ク

ナリ生木ハ中ノ火起ル一遲シ故ニ火ノモユル一遲シ
スベテ心ヨリ万事起テ後外ノ縁ハ来ルナリコノ章今
解シテモト我ヨリ物ヲ犯サバ物モ亦我ヲ害セザ
ルノ義トス然ルニ砂石集ノ説ハ外ノ害ハ内心ヨリ起
ルトスソノ説一層ヲ深クス果シテ老子ノ意ニ當ルヤ
否ヤヲ知ラズ高僧ノ説姑クコレヲ附録スルノミ

五十一章

意章 コノ章道德ハ万物ノ本タリ人ヨクコノ大道ヲ
身ニ體シ至徳ニ至ルベシトイヘルナリ

道生之徳畜之物形之勢成之

訓字 徳トハ万物ノ性ヲサシテ云ナリ水ノ潤シ火ノ燃ユ
ル如キヲ云ナリ畜トハ万物各一徳ヅ、ヲモチタクハ

フルヲ云ナリ物形之トハ万物ソレノ形トナルヲ云
ナリコノ説王註 勢成之トハ譬ヘバ筍ノ一度ニ二丈三

丈ソダツ如キヲ勢ト云モシ筍長サカリニ壓シ止メオ
キ時過ダレバ勢ヌケテソノマ、枯ル、モノナリ故ニ

勢ニテ成ルト云ナリ成ハデキ上ルナリ

義解 凡ソ万物ハ道ヨリ生ジ各一徳ヲモチ畜ヘソレノ

物ノ形トナリ勢ニテデキアガルナリ
トソノ道ハ無ナルモノナリ万物ノ始マリハミナ無ク

リ生ズ譬ヘバ水ニ子^{ボツフリ}ノ生ズル如シコレヲ道生之ト
 云ナリコレ氣ニテヒトリデニ物ノ生ズルナリコレヲ
氣化ト云コノ一易ニ出ヅノ交接シテ子ヲ生ズコレヲサテソノ生ジタル物ハ燃^モ
 形化ト云コノ一易ニ出ヅ
 エル徳ヲモツモアリ潤ス徳ヲモツモアリ飛ブ徳ヲモ
 ツモアリ游^{オウ}グ徳ヲモツモアリコレヲ徳畜之ト云ナリ
 又ソノ燃^モユル徳ヲモツモノハ火ノ形トナリ潤ス徳ヲ
 モツモノハ水ノ形トナリ飛ブ徳ヲモツモノハ鳥ノ形
 トナリ游ク徳ヲモツモノハ魚ノ形トナルコレヲ物形
 之ト云ナリ又ソノ物ノ形微ナルヨリ始マリテ漸ク大
 ニ至ル一全ク勢ニヨツテデキルナリコレヲ勢成之ト

云ナリコレ万物生成ノ次第ナリ
 是以萬物莫不尊道而貴徳

是以萬物莫不尊道而貴徳

義解ソレカクノ如クナル故ニ万物ノ本ヅク所ハ道ト徳
 ナリ是ヲ以テ万物道ヲ尊ビテ徳ヲ貴バザルモノナシ

道之尊徳之貴夫莫之命常自然

訓字命ハ位ヲ命ジユルスナリ

義解五岳ハ視三公四瀆視諸侯トモアリテ世ニ尊キ神祇
 スラ位ヲ命サレテイト尊シトイヘリ然ルニタゞ道

ノ尊キ徳ノ貴キノミハ天地自然ノ理ニテ人ノ為ス所
 ニアラズ爵位ヲ命ズル一ナクシテ尊キモノナリ世ニ

財ヲ身ニモテルヲ富人ト云然レバコノ貴キ道德ヲ身ニモタバ貴キ人ト云ベキカコレ昔ヨリ道德アル人ヲ貴ブ故ナルベシ

故道生之德畜之長之育之亭之毒之養之覆之

訓字 亭ハ品ニスルナリ毒ハラサメナスナリ覆ハオホ

フ庇ヲ蒙ラシムルナリ

義解 ソレコノ故ニ万物ハ道ヨリ生ジ各一徳ヅ、ヲモテ

ルモノナリコレヲ道生之徳畜之ト云ナリサテソノ道トイヘルモノハ万物ヲ長育テ、譬ハバ麻ハ麻トナリ蓬ハ蓬トナラシムルコレヲ長之育之ト云ナリ又ソノ

材質ヲ亭ニ毒タテ、麻ハ績ムベク蓬ハ灸スベキモノナラシムコレヲ亭之毒之ト云ナリ又ソレヲイヨク養ヒ立テ覆ヒタスケ麻ノ直ナルモ蓬ノ横ナルモ各ソノ生ヲ遂ゲソノ程ニソダテオホセ五月雨ノ浸ニモ腐ラズ六月ノ熱ニモ枯レズコレヲ養之覆之ト云ナリサレバ万物始メテ生ズルヨリスデニ成ルニ至ルマデ道ノカニアラザルナシ

生而不有為而不恃。長而不宰。是謂玄德。

義解 僅ニ恩ヲ施シテ徳色面ニ顯ル、モ淺丈夫ニハ常ニ

アル習ナリイカナレバ道ハカクオクユカシキモノニ

アリケルソレ道ハ万物ソノカニテ生ズレ氏己勞アリ

トセズ生而不有ノソノカニテナリ立テ氏己功アリト

セズ為而不恃ノソノカニテ長ズレ氏己ソノ主トナリ

宰トナラズ長而不宰ノソノ徳アリテ人知ラズコレ深

キ玄德ト云ベキナリ是謂玄德ノ人モシヨクコノ道ヲ

會得エトクシテ人ヲ濟スフノ徳アリテ人ニ驕ルノ色ナクバ亦

玄德ト云ベキカ昔舜ヲ稱シテ玄德升聞ト云湯ヲ稱シ

シテ玄王桓撥ト云亦ソノ淺カラズオクユカシキニヨ

リテノ稱ナルベシ

林漢文博士講義 卷四 三十一 三輔氏藏版

